

なぜこのサービスが必要か？

企画理由

少子化を解決するための第一歩

■交際している異性がない人の増加

2015年の国勢調査では「独身に利点あり」と答えたのが未婚の男女共8割を超え、「交際をしている異性がない」と答えたのも男性で約7割、女性で約6割となっている。

■背中を押す必要性

「独身にとどまっている理由」として、「適当な相手にめぐり会わない」が多数を占め、特に25～34歳では男性が45.3%、女性が51.2%と高い割合を示している。
だが、結婚相談所等を利用する数は必ずしも多くなく、意識と行動に大きなギャップを抱えていると言える。

企画目標

■出会いがない。という人をゼロに

現在、公的・民間を含めて多くの出会い・婚活イベント等のサービスがあるが、参加に躊躇している大きな潜在層が存在する。そんな消極的な層にも積極的にアプローチし、意欲を高める必要がある。

■安心感とおせっかいを

「自ら動かない」層を振り向かせるためには、「安心感」としつこい位の「おせっかい」が必要。潜在層を動かし、婚姻率を上げ、人口増加の一助になるサービスを目指す。

競合

カテゴリーキラー

「あいぷろ」のように県・市が主導するイベント等も存在するが、あくまでも利用者が参加意思を表明するPULL型。PUSHをするサービスは存在しない。

企画内容

概要

登録した18～40歳の独身男女へ、メール配信によるマッチングサービス。

登録方法

公的機関でのみ登録・変更を行う。転入の際には、必ず登録の有無を確認。

情報の受け取り

登録携帯電話のSMSを使用。携帯電話固有の送信先で安心感をUP。

マッチング

メール内のリンク(「気になる」など)を押すと、仲介人がチェック。
相手へのアプローチは仲介人が行う。お互いの同意が取れれば、仲介人がポイントを設定。仲介人はお見合いに同席。
後日、仲介人経由で、連絡先を交換。

ポイント

県(市町村)が主導する事業なので安心!

住民票など、個人情報管理している県(市町村)が主導しているので、なりすましなど、不安な人物が入り込む可能性が少ない。

携帯電話の固有番号を使用するので安心!!

メールアドレスなどのように、複数のアカウントを取得することができないので、個人に対するの透明性がある。

仲介人がお世話をしてくれるので安心!!!

登録者同士が連絡先を交換するまでは、やりとりは仲介人のみ。最初のアポイントでも相手の情報は最低限なので、お断りしても安心。

どのようなサービスにすべきか？